

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

The YSK logo is positioned on the left side of the company name. It features the letters "YSK" in a bold, blue, sans-serif font with horizontal stripes.**焼津水産化学工業株式会社**

2020年11月24日

本日の内容

- ① **2021年3月期
第2四半期 連結決算業績**
- ② **不正表示事案に関する
再発防止策の進捗について**
- ③ **中期経営計画の見直し及び
2021年3月期 通期連結決算業績予想**
- ④ **質疑応答**

① 2021年3月期 第2四半期 連結決算業績

代表取締役社長 山田 潤

2021年3月期 第2四半期連結決算業績



(単位：百万円)

	連結				
	2020年 3月期 2Q	2021年3月期 2Q		前期比	当初 計画比 5月11日発表
		計画 10月30日 修正	実績		
売上高	7,631	7,150	7,150	△481 (△6.3%)	650 (10.0%)
営業利益	448	300	300	△148 (△33.0%)	250 (501.5%)
営業利益率	5.9%	4.2%	4.2%	△1.7pt	3.5pt
経常利益	477	311	311	△166 (△34.8%)	261 (522.2%)
当期純利益	244	176	176	△68 (△27.9%)	176 (-%)

<連結売上高>

新型コロナウイルス感染症の拡大及び昨年判明した当社製品の一部における不正表示事案に伴う販売停滞で前期比△481百万円の減収

<連結営業利益>

売上高減少のほか売上構成の変化に伴い利益率が低下したことにより前期比△148百万円、営業利益率は5.9%⇒4.2%と1.7pt低下

<連結経常利益>

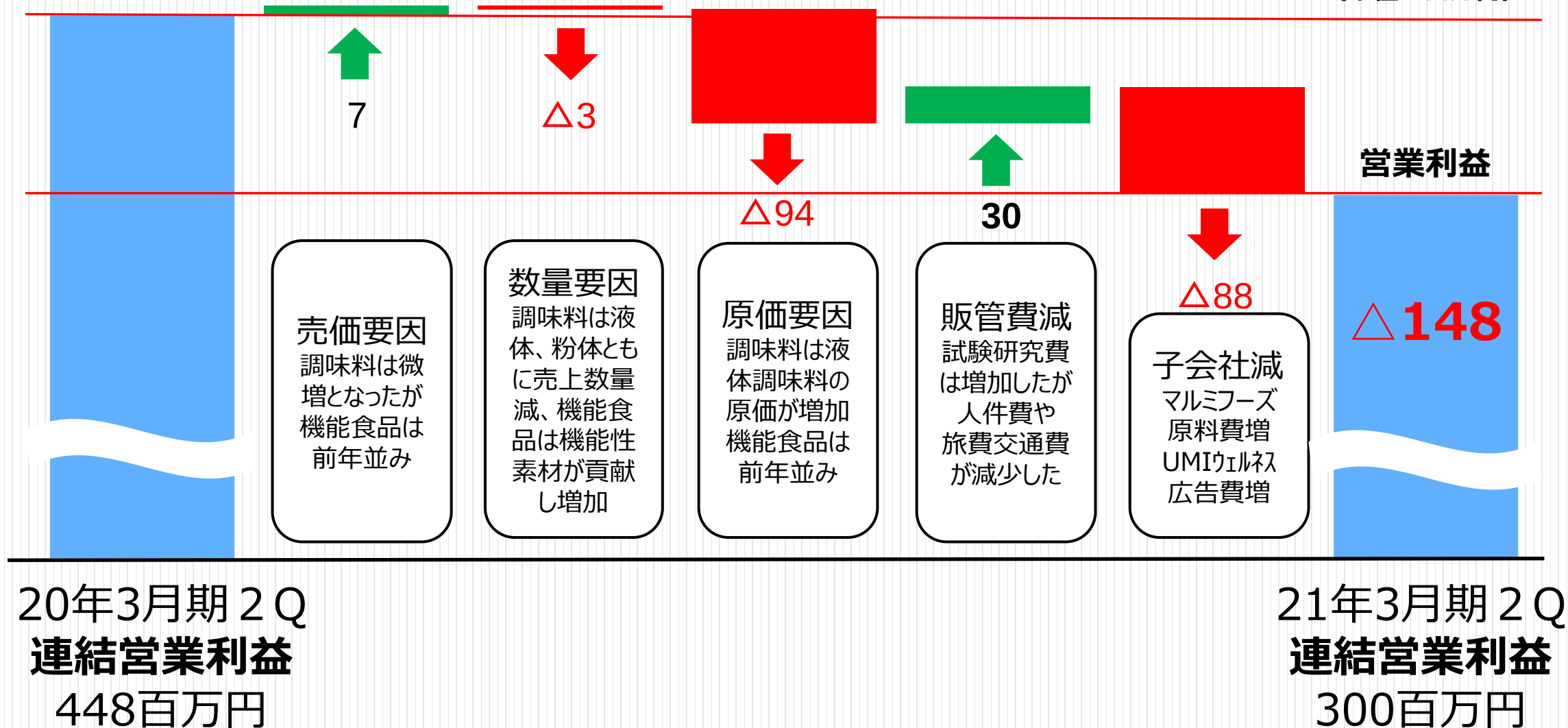
営業利益減により前期比△166百万円

<連結純利益>

不正表示事案に係る品質関連損失を計上したことから、前期比△68百万円

2021年3月期 第2四半期連結営業利益 増減要因

(単位：百万円)



セグメント別 売上高

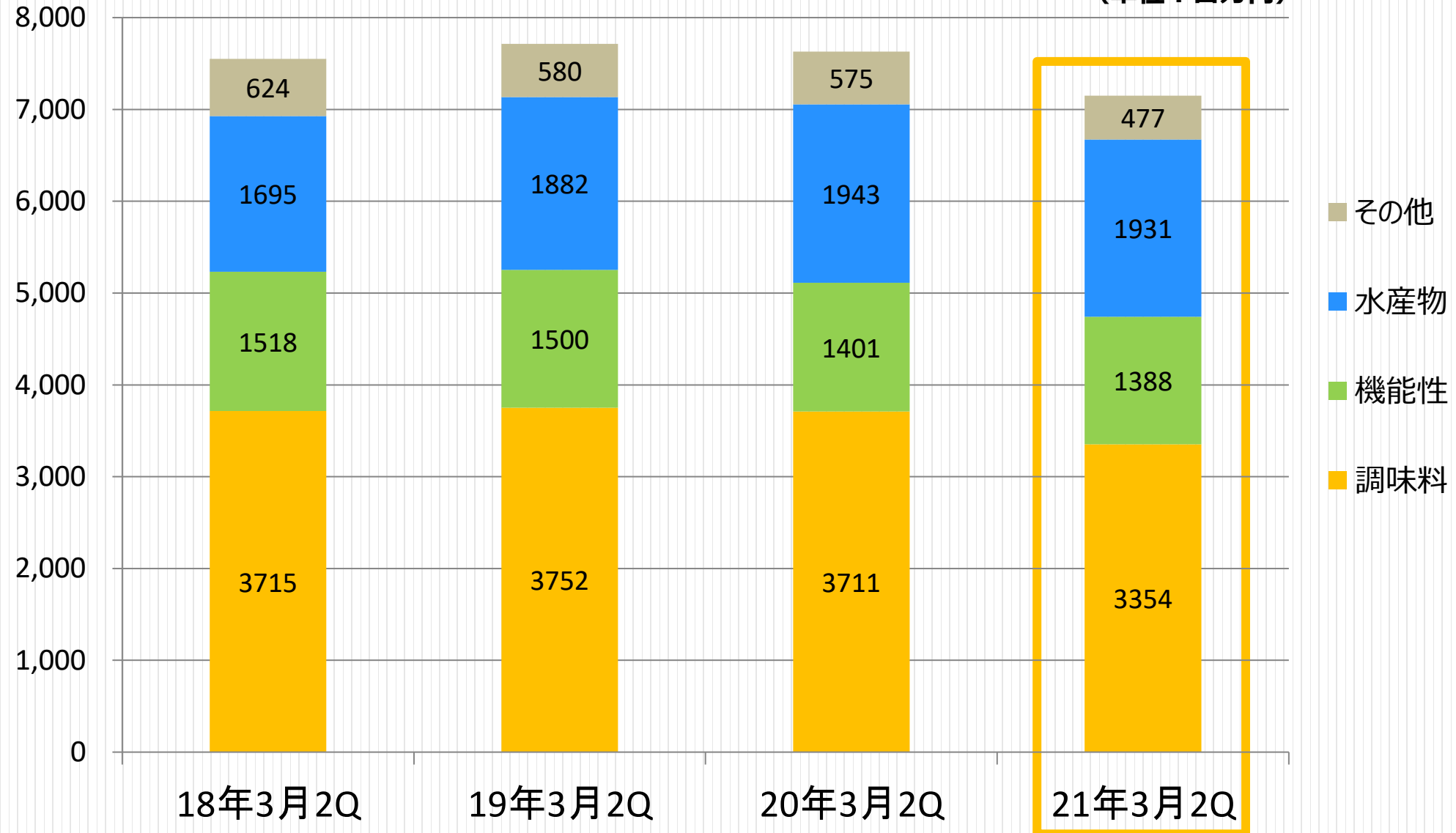
(単位：百万円)

	20/3期 2Q	21/3期 2Q	
	売上高	売上高	前期比
調味料	3,711	3,354	△357
機能食品	1,401	1,388	△13
水産物	1,943	1,931	△12
その他	575	477	△98
合 計	7,631	7,150	△481

- ・ 調味料は、新型コロナウイルス感染症の拡大及び当社製品の一部における不正表示に伴う販売停滞により、液体調味料、粉体調味料、香辛料ともに減少
- ・ 機能食品は、アンセリンの売上が増加した一方、主力のN-アセチルグルコサミンが減少
- ・ 水産物は、鮪原料相場の下落による販売価格の見直し等により減少
- ・ その他は、化粧品通信販売およびその他の商品の販売が伸び悩み減収

セグメント別連結売上高推移（18年3月期2Q～21年3月期2Q）

（単位：百万円）



セグメント別 営業利益

(単位：百万円)

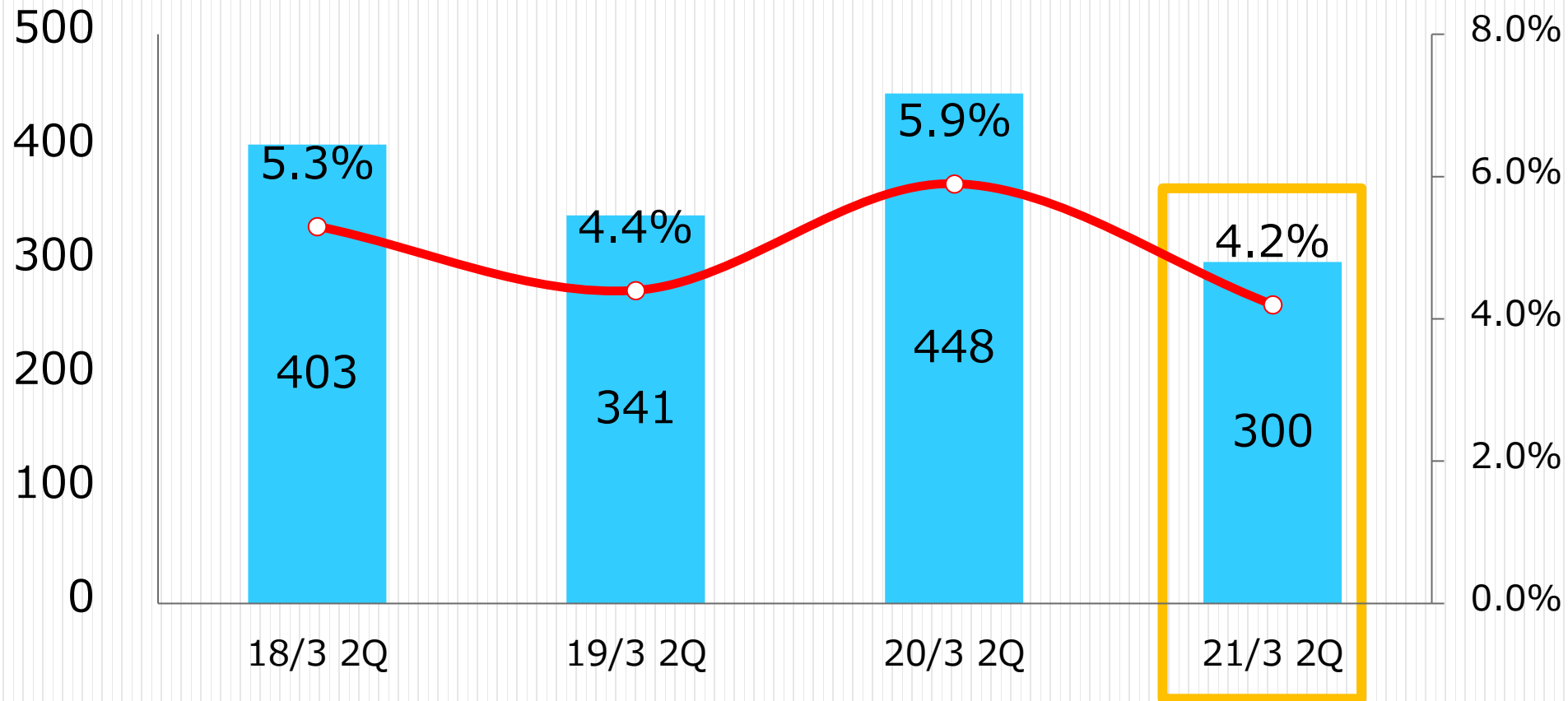
	20/3期 2Q	21/3期 2Q	
	営業利益	営業利益	前期比
調味料	420	308	△112
機能食品	348	363	15
水産物	33	△12	△45
その他	17	14	△3
全社	△371	△373	△2
合 計	448	300	△148

- ・ 調味料は、販管費が減少するも、売上減により減益
- ・ 機能食品は、売上構成の変化に伴う利益率改善により増益
- ・ 水産物は、減収及び売上原価率上昇等により赤字着地
- ・ その他は、売上高の減少により減益

連結営業利益推移（18年3月期2Q～21年3月期2Q）

■ 連結営業利益（百万円）

● 営業利益率（%）

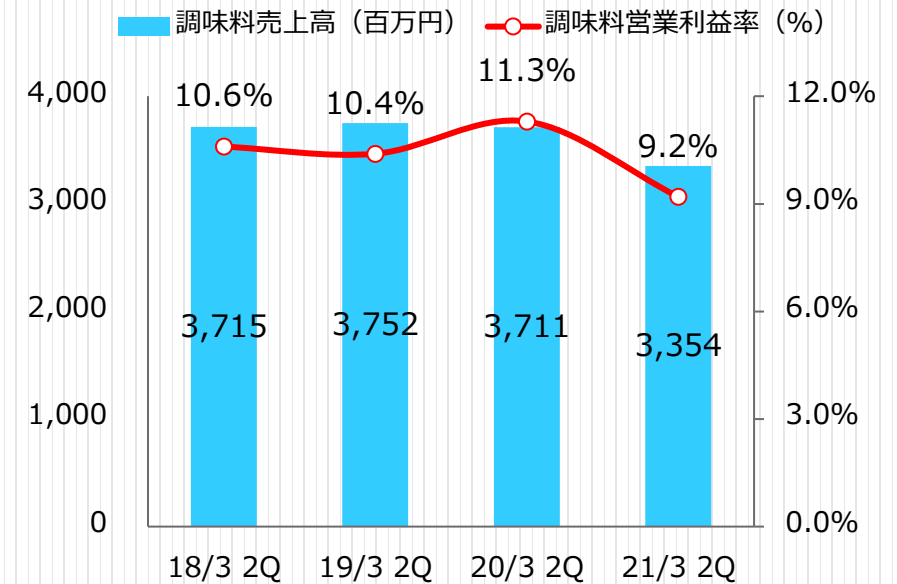


2021年3月期 2Q 業績概要（調味料）

（単位：百万円）

	20/3期 2Q	21/3期 2Q	前期比
液 体	1,712	1,589	△123
粉 体	1,972	1,745	△227
香 辛 料	26	19	△7
売上高 合計	3,711	3,354	△357
営業利益合計	420	308	△112
営業利益率	11.3%	9.2%	△2.1pt

- ・ 液体は、水産系エキスが不振
- ・ 粉体は、水産系粉体が不振
- ・ 香辛料は、レホールの販売が減少
- ・ 調味料全体の営業利益率は2.1pt減の9.2%



2021年3月期2Q 業績概要（機能食品）

（単位：百万円）

	20/3期 2Q	21/3期 2Q	前期比
機能性食品素材	1,083	1,115	+32
機 能 食 品	317	272	△45
売 上 高 合計	1,401	1,388	△13
営業利益 合計	348	363	+15
営業利益率	24.9%	26.2%	+1.3pt

<売上高>

- ・ 機能性食品素材はアンセリンの新規商品採用により増収
- ・ 機能食品は子会社の通販で主力のNAGの販売が苦戦

<営業利益>

- ・ 利益率の高いアンセリンが好調

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		20年 3月末	20年 9月末	増 減	主 な 内 容
資 産 の 部	流動資産	14,618	14,942	+324	現金及び預金 +119 受取手形、売掛金 +67 棚卸資産 +169
	固定資産	7,677	7,950	+273	建物及び構築物 △70 機械、運搬具 △71 投資有価証券 +400
	資産合計	22,295	22,892	+597	
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流動負債	2,450	2,637	+187	支払手形及び買掛金 +129 未払法人税等 +69 未払金 △39 未払消費税等 △20 賞与引当金 +34
	固定負債	312	431	+119	繰延税金負債 +117
	純資産	19,533	19,824	+291	利益剰余金 +4 その他有価証券評価差額金 +277
	負債・純資産合計	22,295	22,892	+597	

②不正表示事案に関する 再発防止策の進捗について

不正表示事案に関する再発防止策の進捗報告

2019年11月18日

- ・再発防止策の公表

2020年2月28日

- ・再発防止策の進捗報告（1回目）

2020年9月25日

- ・再発防止策の進捗報告（2回目）

再発防止策（１）

コンプライアンス意識の改革と企業統治体制の強化

- ・定期的なコンプライアンス及び食品表示研修を実施
- ・企業倫理規範の改定および啓発活動
- ・リスク管理委員会、コンプライアンス委員会の改設
及び法務グループの新設

再発防止策（2）

品質保証体制の抜本的見直し

- ・組織横断的な『品質改善会議（外部有識者含む）』を新設
品質保証の方針決定と課題解決
- ・品質保証本部の組織を再編成（執行部隊と監査部隊の分離）
- ・品質規格書作成に関するルールの厳格化

再発防止策（3）

製造体制の強化

- ・製造体制をチーム制へ移行
- ・原料使用量の管理のため、毎日棚卸を実施
- ・各工場に品質保証部門の担当が駐在
- ・不良品発生時における責任体制の見直し

再発防止策（4）

全社的コミュニケーションの活性化

- ・従業員と経営陣との対話集会の実施
- ・改善提案制度の新設
- ・定期的な無記名アンケートの実施
- ・外部を活用したホットラインの増設

再発防止策の有効性レビューを実施

不正表示事案の判明から1年が経過し、再発防止策の各施策の有効性について、主担当部署の評価を踏まえて2020年9月に全社的なレビューを実施しました。

レビューの結果、各施策についての有効性が確認され、引き続き施策を継続していくこととなりました。

また、2020年9月11日には、不正表示事案を風化させることなく再発防止に努めていくため、全従業員に対して社長メッセージを発信しました。

**③中期経営計画の見直し
及び
2021年3月期 通期業績見通し**

中期経営計画の見直し

2020年3月期～2022年3月期

「 Create Next YSK 」

当初の3年基本戦略

“おいしさ”と“健康”で価値創造フィールドを拡大し、
顧客に支持される食品メーカーへ

国内調味料

国内機能性

海外展開

新たな事業分野
創出

差別化とフィールド拡大
による成長

海外事業の
ステージアップ

新規事業育成

経営基盤の強化戦略（情報システム、人事・総務、財務）

開発機能の強化戦略（10年スパン）

当初の基本戦略

“おいしさ”と“健康”で価値創造フィールドを拡大し、
顧客に支持される食品メーカーへ

国内調味料

国内機能性

海外展開

新たな事業分野
創出

差別化とフィールド拡
による成長

経営基盤の強化

開発機能の強化

【中期経営計画の見直し】

昨年の不正表示問題および新型コロナウイルス感染症の影響により、主力の国内調味料事業の施策を中心に3年基本戦略の大幅な見直しが必要となりました。

事業育成

財務)

見直した基本戦略

顧客に支持される食品メーカーへ

国内調味料

品質保証体制
の抜本的見直し

国内機能性

海外展開

新たな事業
分野創出

顧客の
信頼回復

顧客に支持される
品質保証体制

差別化と
フィールド拡大
による成長

海外事業の
ステージアップに
向け体制整備

新規事業育成
に向け体制整備

経営基盤の強化戦略（コンプライアンス、コミュニケーション等）

開発機能の強化戦略（10年スパン）

個別戦略（１）

【国内調味料】

顧客の信頼回復

- ・ 重要顧客の課題解決をスピード感をもって行う社内体制の確立
- ・ 安定納品可能な生産体制の整備
- ・ 情報・書類の提出スピードの向上
- ・ 分野を絞った戦略得意先(新規)の攻略

個別戦略（2）

【品質保証体制の抜本的見直し】

顧客に支持される品質保証体制の確立

- ・ 正しい食品表示の提供を可能とする
システムの構築と定着化
- ・ 横串強化によるクレーム・工程事故の削減
- ・ 精緻な品質検査体制の構築

見直した中期経営計画の定量目標

(単位：百万円)

	当初計画	修正計画
連結売上高	17,000	12,000
連結営業利益	1,100	500

※連結売上高については、2021 年 4 月 1 日以降の収益認識に関する会計基準導入の影響を勘案しました。

2021年3月期 連結業績予想（概要）



（単位：百万円、％）

	2020年3月期（実績）			2021年3月期（計画）					
	上期	下期	通期	上期 実績	前年 同期比	下期 予想	前年 同期比	通期計画	前年 同期比
売上高	7,631	7,290	14,921	7,150	△ 481	6,350	△ 940	13,500	△ 1,421
営業利益	448	375	823	300	△ 148	30	△ 345	330	△ 493
営業利益率	5.8%	5.1%	5.5%	4.2%	△ 1.6pt	0.5%	△ 4.6pt	2.4%	-
経常利益	477	409	886	311	△ 166	39	△ 370	350	△ 536
当期純利益	244	72	316	176	△ 68	△ 26	△ 98	150	△ 166
ROE			1.6%					0.8%	



焼津水産化学工業グループは
天然素材の持つ
無限の可能性を追求し、
“おいしさと健康”を通して
豊かな生活に貢献します。

注意事項

当資料には計画や見通し等が含まれています。こうした記述は、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。将来の業績、経営方針などは、環境等の変化に伴い、変化があることをご留意ください。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等につきましては、当社は一切の責任を負うものではありませんのでご了承ください。

IR問い合わせ窓口

焼津水産化学工業株式会社
経営企画部 IRグループ
電 話：054-202-6051
F A X：054-202-6031